システムモデリング 第13回 7/10

データモデリング

ER図の構成要素

- エンティティ テーブル
- リレーションシップ 制約、トリガー
- 属性 列
- 識別子 1つを特定する値

ER図とクラス図

- ER図はUMLより前から使われている。RDB構造を表す。
- ER図をより汎用的にしたものがクラス図
- DB設計はER図、OO設計ではクラス図を使う
- UMLには含まれていない
- ER図やクラス図は表記法、使い方はユーザの自由

ER図の要素

多重度

エンティティの両端に多重度を定義する 自身の四角から見て相手側にある記号が関係

任意性(オプショナリティ)

対応関係の任意性(関係が必ず成り立つかどうか)を示す